

# 2017年度 プロジェクトレポート

国内外のプロジェクトパートナーから、素晴らしい成果と感謝の声が届きました。

P.P. = プロジェクトパートナー 2017年度の実績(概算)

## ソロモン諸島 熱帯雨林保全



大きく成長した職業訓練校を中心に、チョコレートなどの試作品を開発しました。

都市部と農村部の経済格差が問題になっていたソロモン諸島。エコカード基金では、その格差を解消するために、農村部で職業訓練校の運営をサポートしています。敷地内で森林を整備しながら農産物などを生産するアグロフォレストリーへの取り組みもそのひとつ。昨年度は、多目的に使用できるワークショップエリアの増設や養蜂エリアを新設したほか、チョコレートの試作品も開発しました。

支援金額 7,070,000円

緑化事業 8,000m<sup>2</sup>

まだ道半ばのチャレンジですが、これからも応援させていただきます。



ディクソン・ナロさん

P.P. 特定非営利活動法人 エービーエスディ (APSD)

## バブアニューギニア 熱帯雨林保全



貴重な熱帯雨林を守るための啓蒙活動が、ようやく実を結んできました。

森林伐採が農村の伝統的な暮らしに与えている悪影響を、映像などの資料を使用して啓蒙しています。その結果、現地の人たちの意識も大きく変わり、アラバム村をはじめとした3つの村では焼畑に頼らないタロ芋の生産に目途がたってきました。さらに昨年度は、272戸の家族にカカオの栽培なども、現地の人たちの手だけで、定置型有機農法を進められる日を目指しています。

支援金額 7,762,505円

カカオ苗の支援 54,400本

サポートありがとう！ 保全活動がんばっています！



荻原 美知勝さん、ダニエル・リアンさん、イエン・ルーベンさん  
P.P. 公益財団法人 オイスカ

## キリバス共和国 南太平洋諸国支援



植林したマングローブは、津波や高潮の脅威、さらには生態系までも守っています。

太平洋に位置するキリバスは、33の環礁からなる島嶼国です。しかし、のどかな景色とは裏腹に、地球温暖化による海面上昇、大きな潮位変動が起こるキングタイドへの不安に悩まされています。その脅威から暮らしを守るために、昨年もマングローブの植林を実施。キリバスの環境省職員、現地の環境クラブのメンバー、青年海外協力隊員の協力を得て、強い日差しのもとで汗を流しました。

支援金額 3,405,434円

マングローブの植林 11,079本

海岸線にマングローブの緑が広がります！



大城のぞみさん、玉城 エリ子さん、毛塚 みおさん、木村 法実さん

P.P. 特定非営利活動法人 国際マングローブ生態系協会

## ツバル 南太平洋諸国支援



なんと目標の2.5倍の植林に成功。現地では、環境への意識も育っています。

ここツバルでも、地球温暖化による海面上昇が、海岸線の浸食を引き起こしています。昨年度も、マングローブの苗を植林することで浸食を食い止め、砂の堆積を促す活動を実施しました。植林後にサイクロンが上陸するという困難にも遭遇しましたが、苗木は負けることなく育っています。この自然の防波堤をさらに広げるために、現地の人たちへの技術移転も図っていくことが次の課題です。

支援金額 2,643,625円

マングローブの植林 10,596本

累計2万本の植林達成！ 皆さまの支援に感謝です。



現地の皆さま

P.P. 特定非営利活動法人 ツバルオーバービュー

## ネパール 野口健 ヒマラヤに森をつくろう



標高3,500mのサマ村での植林活動は、春先まで残る大雪にも負けずに進んでいます。

世界に誇るヒマラヤの麓に位置するサマ村は、過度な森林伐採によって荒れ果てた状態でした。そこで2016年度にスタートした植林プロジェクトは、苗木づくりからスタート。厳しい冬の寒さに負けずに、ブルーシートで覆ったり雪かきをしたりして守り抜きました。そして2018年5月16日、旗振り役の野口健さんと現地の人たちが協力して、ついに3,000本を植林することができたのです。

支援金額 3,147,500円

育苗 15,000本

ヒマラヤの奥地での活動は、一歩一歩前進しています！



ツウオン・ギルミン・ラマさん、テンドル・ラマさん、アン・タルケ・シェルバさん

P.P. 特定非営利活動法人 ビークエイド

## フィリピン 異常気象に負けない森づくり



巨大台風にも負けない森づくり。その面積は、目標を上回るペースです。

大型台風の上陸が多いフィリピンでは、異常気象に負けない森づくりに取り組んでいます。植えているのは、強風や乾燥に強い在来種を中心に、暮らしを助ける果樹なども、5年間で75haの森をつくるために、地元の人たちへの啓蒙活動も進めています。昨年度は3つの学校で、環境保全セミナーを開催。エコカード基金の支援が終了した後でも、森を維持管理できる体制の構築を目指しています。

支援金額 5,099,475円

在来種・果樹の植林 7,050本

様々な樹種が育つ森を、ぜひ見に来てください。



マリオ・ロベスさんと植林グループの皆さま

P.P. 公益財団法人 オイスカ

## 北海道 ゴルフ場跡地を森に戻そう 種まき塾



アカエゾマツやミズナラ、さらにはクルミ。種子から育てた苗木が、北の大地に。

地元北海道の森の中から、種子が発芽して間もない実生を採取し苗木を栽培し、富良野自然塾と芦別緑化委員会に届けられました。こうした活動によって、植生に合った森づくりに貢献しているのです。皆さまのご支援のおかげで、ゴルフ場跡地の一部は森に戻りました。今後は地域の力で継続できる仕組みづくりを目指し、新たな一歩を踏み出します。ご支援ありがとうございました。

支援金額 3,480,642円

苗木の供給 3,700本

ゴルフ場に植えた苗木は、スクスク育っています。



伊藤 正博さん、伊藤 眞利子さん

P.P. 有限責任事業組合 富良野種まき塾

## 宮城 海を守るために木を植える 森は海の恋人



植樹祭の開催やSNSによる情報発信で、今まで以上に活動の輪が広がりました。

森・里・海のつながりを知ることで、環境保全の大切さを伝える取り組みです。昨年度は、毎年恒例の植樹祭を開催したほか、情報発信を積極的に実施。ホームページやfacebookの更新や、動画の作成を頻繁に行うことで、テレビ番組や雑誌等に取り上げられる機会が大幅に増加しました。これからも、リアルな場での体験とWEBでの発信という2つの活動を両輪に、啓蒙活動を続けていきます。

支援金額 3,736,809円

植林 1,600本

皆さまのおかげで、森も海も人も元気になりました！



現地の皆さま

P.P. 特定非営利活動法人 森は海の恋人

## 宮城 海岸林再生10か年計画



苗木から育てたクロマツは3mに達する木も。海岸林は、日に日に力強さを増しています。

東日本大震災によって失われた海岸林は、だいぶ再生が進んできました。特に今回は、植林して2か月後の活着率が99.8%と過去最高を記録。その理由のひとつが高品質な苗木づくりで、生産した苗木が林野庁長官賞を受賞するというニュースも。さらに、この活動を復興副大臣が視察に訪れるなど、高い注目を集めています。今後は、若い世代の参加者数を増やすための取り組みも進めていく予定です。

支援金額 4,000,000円

クロマツの育苗 4,800本

おかげさまで、クロマツは順調に育っています。



現地の皆さま

P.P. 公益財団法人 オイスカ



千葉  
九十九里浜の海岸林を震災前の姿へ戻そう



千葉県民の参加者が多いのも特長。地域にしっかりと根づいてきた植林活動です。

東日本大震災による津波の影響で、九十九里浜のなかでも特に被害の大きかったのが蓮沼殿下海岸の防砂林でした。ここでの植林活動は、なぎ倒されたままになっていた木々を撤去するところからはじまります。そして防災林の専門家や樹木医のアドバイスを受けながら、地元の人たちを中心に、植える位置のマーキングや植林、さらには強い潮風の影響を受けないための竹柵を設置しました。

クロマツの植林  
1,650本

皆さまのご支援で、津波被害の森を再生させます！



竹垣 英信さん

P.P. 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

山梨  
馬と守る都留の里山保全



木を切ることで、森を元気にする活動。切り出した間伐材は、薪として活用しました。

手入れが行き届かない森は、実は本来のCO2吸収能力を発揮できずにあります。ここ都留の里山では、森林に最適な光が差し込めるように間伐することで、CO2をたっぷり吸う元気な木を育てているのです。切った木は馬の力を借りて山から運び出し、その間伐材は薪として活用しました。おかげさまで、無事に目標を達成しましたので、このプロジェクトは終了します。ご支援ありがとうございました。

間伐整備  
160,000㎡

林地残材を馬で出して薪に。ありがとうございます！



岩田 和典さん

P.P. 特定非営利活動法人 都留環境フォーラム

静岡  
世界遺産 富士山の森を守り再生させよう



ボランティアの方と、間伐や下草刈りなどを実施。植樹した木々は、しっかりと育っています。

美しい富士山の森を再生させるために、2つの取り組みを実施しています。2012年からスタートした富士宮市で広葉樹の森を育てる活動は、あいにくの天候に見舞われる日があったものの、予定していた範囲の草刈りやツタ取りができました。そして2016年からスタートした西白塚協定林での森づくりでは、ウラジロモミの間伐を実施。こちらは、エコカード会員の皆さまにも協力していただきました。

育樹活動  
6,000㎡

皆さまのご支援を糧に、これからもがんばります！



大井 英明さん 深澤 寛貴さん

P.P. 特定非営利活動法人 富士山クラブ

長野・宮城  
C.W.ニコル・アファンの森と東松島の森づくり



荒廃した森を、震災で放置された森を。人の手によって整備し、再生させています。

アファンの森では、おもにコナラ林の間伐をすることで、木々や下層植生の成長を促しました。その間伐量は15tにおよび、燻製用のチップや、キノコを育てるときに使用するホダ木として活用しています。そして東松島の森では、ワークショップを4回実施。合計100名以上の方と森の整備を行いました。2か所で定期的に活動をすることで、森を育てながら、同時にエコの心も育てています。

森の保全活動  
130,000㎡

森を元気にする活動ができました。成長した木々の活用も考えていきます！



石井 敦司さん 大澤 渉さん 緑川 彩さん

P.P. 一般財団法人 C.W.ニコル・アファンの森財団

徳島  
地域住民で守る神山の里山保全



小道具を使った間伐方法で、市民とともに楽しみながら里山の整備を実施。

手入れされていない森を、人が集まれる広場にするため、倒木などを片付けることからプロジェクトはスタートしました。そして里山を復活させるために間伐を実施。この地は傾斜地であったため、大型機材を使用した搬出はできませんでしたが、代わりに小道具を駆使した方法で克服することができました。この間伐材を活用して、フィンランド式のサウナをつくるアイデアも出ています。

里山の整備  
2,000㎡

森が明るくなり、間伐材の活用もはじまりました！



齋藤 郁子さん ヴァレリー・テレさん 吉澤 公輔さん

P.P. 遊べる森づくりの会

# 2018年度 新たなプロジェクトがスタート!!

CO2を減らすために、皆さまのご支援を新しいプロジェクトに活用していきます。

NEW! タイ  
東洋ミツバチと一緒に森をつくる

東洋ミツバチの受粉を活用。自然の力で森の生育を促していきます。



タイの北西部では、熱帯季節林の減少がはじまっています。エコカード基金が新たに支援するのは、できる限り自然の力を活用することで、本来の姿を取り戻すチャレンジ。その中心を担うのは、東洋ミツバチとともに進める「植えない植林」といわれる活動です。ミツバチが受粉をすることは、種子の形成に役立ち、やがて発芽して木々へと育っていきます。つまり間接的に植林と同じ効果を得ることができるのです。さらにハチを育てることは、養蜂産業の育成にもつながり、現地の人たちの経済力アップに貢献することも期待されているため、希望する人々には養蜂箱を配布する計画を進めています。近い将来、そのハチミツが皆さまの食卓に届く日が来るかもしれません。



P.P. 特定非営利活動法人 GONGOVA

NEW! 東京  
八王子の里山を明るい森に変えていこう

住民たちが気軽に散歩できる森を目指して。環境と景観を両立させる活動がはじまりました。

一見、自然豊かに見える森でも、実は生物多様性が損なわれていることがあります。ここ東京都の八王子にある森もそのひとつ。手入れができていないこの森では、一枚一枚の葉が厚くて大きい照葉樹が生い茂りすぎており、日中でも暗い状態が続いていました。これでは、残念ながら落葉系の植物が育ちにくく、動物や昆虫にとっても住みにくい環境です。そこで市民ボランティアの方々の協力を得ながら、必要に応じて木を伐採して、日差しが入り込む明るい森にしていきます。さらに間伐材は、現地で細かく粉砕してウッドチップに加工して散策路に敷き詰める計画です。こうすることで、人が気持ちよく里山散歩に足を運べる環境づくりにもなります。



P.P. 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

NEW! 兵庫  
人と動物が共生する「安賀彩りの森」

奥播磨の森を、もっと明るく、もっと身近に。人が散歩気分に入れる里山にしていきます。

数十年前の日本には、人の暮らしと自然界に境目となる里山がありました。しかし、人が山から遠ざかり、手入れが行き届かなくなったため、その境界が次第に失われてきています。そこで取り組むのが、人と野生動物が共生できる森づくり。まずは荒廃した山を間伐や草刈りによって整備します。次に野生動物が里山を荒らしたり、人の生活圏に侵入したりしないように防護柵を設置。さらには人が里山に気軽に足を運べる明るい環境をつくるために、樹高がそれほどない低木を植える植樹祭を開催する予定です。3年後には、自然の花が咲き誇る「安賀彩りの森」を開園し、地元の人たちに里山をもっと身近に感じてもらうことを目指しています。



P.P. 特定非営利活動法人 奥播磨夢倶楽部

